

「東電福島原発事故対応緊急作業従事者の線量再構築に関する研究」に係る皆様へ

(疫学研究に関する情報)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の東京電力福島第一原子力発電所事故に対し、多くの方々が事故収束及び除染や廃炉に関する作業にかかわってきました。国は平成23年3月14日から同年12月16日まで緊急作業に従事される方の線量限度を100mSvから250mSvに引き上げましたが、この間、約2万人の方々が緊急作業に従事されました。これらの方々については、健康状態を継続的に調査するとともに、放射線被ばくによる健康影響を分析し、それらの結果を健康管理に役立てる必要があります。

そこで、厚生労働省ではこれらの緊急作業従事者を対象に、放射線被ばくによる健康影響を評価するための疫学的研究（公益財団法人放射線影響研究所が受託。令和元年度より、独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所が受託。）を行うこととなり、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、疫学的研究の対象となる緊急従事作業員約2万人について、放射線被ばくによる健康影響を評価するために必要な被ばく線量を正確に把握するための研究を2015年より開始いたしました。

この研究では、受託元である労働安全衛生総合研究所で運用されている放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究データベースシステム（受託元が東京電力及び協力企業から収集し、その情報を格納したシステム）に格納されている既存の試料・情報（被ばく線量、作業歴等）及び事故当時日本原子力研究開発機構で取得された尿試料の分析結果を用いて被ばく線量の再評価を行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等により、対象となる皆様のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] 「東電福島原発事故対応緊急作業従事者の線量再構築に関する研究」

[研究期間] 研究機関の長の許可日～ 2029年3月31日

[研究機関] ●研究代表機関及び代表者

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）（研究代表機関）

放射線医学研究所 計測・線量評価部

栗原 治

●共同研究機関及び研究責任者

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）

放射線管理部 辻村 憲雄

[研究の目的] 東京電力福島第一原子力発電所緊急作業従事者約2万人の放射線被ばくによる健康影響を評価するために必要となる被ばく線量について、東京電力及び協力企業から提供される被ばく関連の資料等を基に再評価し、正確な数値を把握することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる方々

平成23年3月14日から同年12月16日までに東京電力福島第一原子力発電所の緊急作業に従事された方約2万人を対象とします。

●利用する試料・情報

①原則として対象となる方々が緊急作業従事中にお勤めになられた東京電力及び協力企業が所有している作業や被ばく線量等に関する試料・情報（個人被ばく線量に関する情報、緊急作業期間及び内容、安定ヨウ素剤の摂取状況、治療用放射線被ばく及びCT検査歴等）を使用します。この試料・情報の収集や整理は、厚生労働省より委託された独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所が行い、疫学研究データベースシステムファイル送/受信システムを通して QST へ提供されます。

- ・ 試料・情報の提供機関及び責任者
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
労働者放射線障害防止研究センター長 大久保 利晃
(疫学的研究の研究代表者)
- ・ 試料・情報の提供時期：研究機関の長の許可日

②事故当時、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所放射線保健室で、内部被ばく検査のために緊急作業従事者から同意を得て取得された既存尿試料の分析や、その結果を用いて線量評価を行います。

[個人情報取り扱い]

お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

労働安全衛生総合研究所が収集した試料・情報及び日本原子力研究開発機構が採取・分析した既存尿試料の分析結果が本研究の実施機関（QST及びJAEA）で共有される際は、提供される際にはお名前やご住所など個人を直接同定できる情報は既に削除されている状態で取り扱います。また、研究成果は、解析した全体の数字として厚生労働省の報告書や学術誌等で公表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。なお、本研究の研究機関（QST及びJAEA）では、労働安全衛生総合研究所から提供された試料・情報から個人情報を特定することが不可能なため、ご自身のデータを使用されたくないというご意向をお受けすることは出来ませんのでご了承下さい。その

ため、個人情報の利用拒否の申し出は、下記の労働安全衛生総合研究所の問い合わせ先へ連絡をお願いします。

この研究に関してご不明な点がございましたら、下記[問い合わせ先：窓口]にお問い合わせ下さい。

[問い合わせ先：窓口]

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
放射線医学研究所
計測・線量評価部
電話：043-206-4734（平日9：00～17：00）

既存尿試料に関連して、ご不明な点がございましたら、下記[問い合わせ先：窓口]にお問い合わせ下さい。

[問い合わせ先：窓口]

茨城県那珂郡東海村村松4-33
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部
TEL: 029-282-1861（平日9：00～17：00）

個人情報の利用を希望されない方は、下記の連絡先に問い合わせください。

〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
労働者放射線障害防止研究センター
放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究（NEWS）研究本部
TEL:044-865-6139 フリーダイヤル:0120-865-618
e-mail: newstudy@h.jniosh.johas.go.jp